

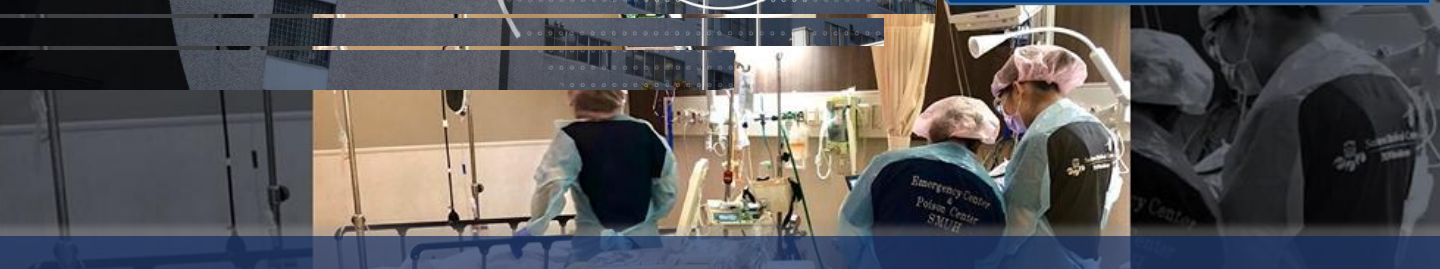
RESIDENT

PROGRAM INFORMATION

Saitama Medical University Hospital

Your Happiness is Our Happiness

埼玉医科大学病院



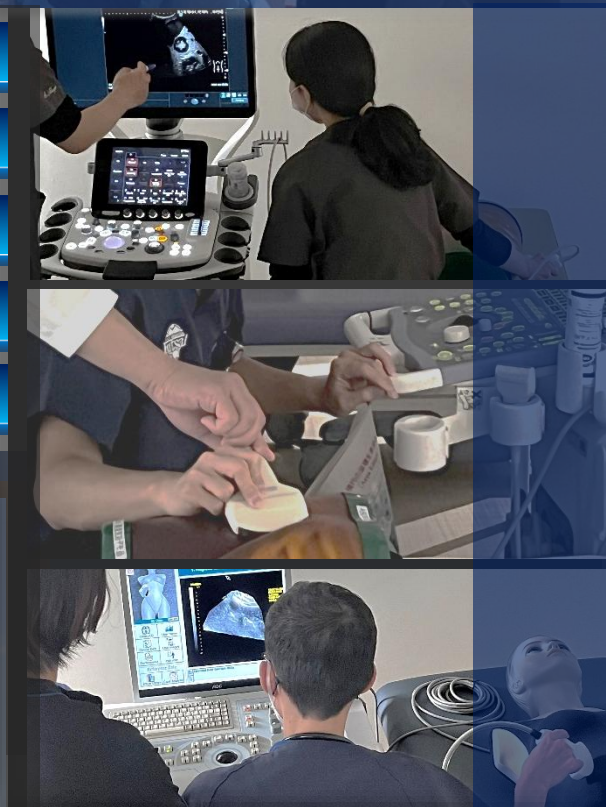
メッセージ【Message from Residents】

プログラム【Outline of Program】

協力型病院・協力施設【Training Institutions】

指導体制【Style of Training】

施設紹介【Introduction of Facilities】



各種シミュレータ・模擬診察室完備



埼玉医科大学病院
臨床研修プログラム

A 総合診療内科
General Internal Medicine

初期研修の2年間は優れた臨床医として医師が一生を有意義に送るための土台となる極めて重要な時期であり、一人ひとりの研修医が本プログラムによって美しい研修成果を達成することを期待いたします



メッセージ【Message from Residents】

【研修修了者からのメッセージ】

埼玉医科大学病院は大学病院と市中病院の良い所取りの病院です！

当院は大学病院として専門性の高い症例の経験ができ
埼玉県西部の地域医療を担っておりますので
common diseaseも沢山経験できます。

<https://www.saitama-med.ac.jp/hospital/resident/ishirinshokenshu/voice/>

研修医の
本音
白書



研修医インタビュー

INTERVIEW

【埼玉医科大学総合医療成広域連携病院自由選択プログラムの研修医当時のメッセージ】

総合医療成広域連携病院自由選択プログラムの魅力は特色の異なる埼玉医科大学3病院に加えて他大学病院での研修も選択できるため、自分の希望や進路に合わせた幅広い選択肢を持てることです。

私が所属する本院は大学病院ならではの専門的な症例から地域拠点病院としてのコモンな症例まで幅広く学ぶことができ、教育熱心な先生方が特に多いため、研修環境として最適であると感じています。

私たちの学年は約1/3が他大学出身者ですが、出身大学に関係なく同期皆で切磋琢磨しながら充実した研修を行っています。

百聞は一見にしかず。是非一度見学にいらして下さい。



O先生：埼玉医科大学病院
脳神経内科・脳卒中内科専攻医
Resident：総合医療成広域連携病院
自由選択PG
(埼玉医科大学卒)

【埼玉医科大学3病院自由選択プログラムの研修医当時のメッセージ】

私は埼玉医科大学病院の3病院自由選択プログラムで研修を行なっています。

このプログラムでは、当院、国際医療センター、総合医療センターの各科を自分の進路希望等に合わせて自由に選択することができます。また、当院で研修して感じていたことは、教育が充実している、相談しやすい、温かみのある人が多い、などといったことです。そして当院には数多くの充実した診療科がありますが、そのうちの 하나가精神科です。大学病院で、なおかつ措置入院、緊急措置入院、応急入院も受け入れるところは非常に少なく、そういった点も当院の魅力の一つです。

もし当院に興味があれば、是非一度、見学にいらしていただき、魅力を体感していただければと思います。



I先生：埼玉医科大学病院
神経精神科・診療内科専攻医
Resident：3病院自由選択PG
(獨協医科大学卒)

埼玉医科大学以外の大学出身者について

当院は出身大学に関係なく、みんなで協力し合いながら仲良く研修しています。また、学閥や診療科間の垣根もないのも魅力の一つです。

研修医の出身大学

埼玉医科大学、山形大学、帝京大学、日本大学、岩手医科大学、金沢医科大学、順天堂大学、杏林大学、山口大学、東海大学、東北医科薬科大学、東北大学、愛知医科大学、旭川医科大学、宮崎大学、金沢大学、慶應義塾大学、山梨大学、四川大学、昭和大学、信州大学、新潟大学、聖マリアンナ医科大学、千葉大学、川崎医科大学、中国復旦大学、長崎大学、鳥取大学、東京医科大学、東京大学、東邦大学、日本医科大学、浜松医科大学、福島県立医科大学、琉球大学、獨協医科大学、(過去5年実績)

メッセージ【Message from Residents】

【研修修了者からのメッセージ】

**埼玉医科大学病院の魅力は教育熱心な指導医が多く
親身になって指導いただけることです！**

**色々な意見・最新情報をもった専門医のもとで
日々、研修でき正しい知識と経験を積むことが可能です。**

【埼玉医科大学研究マインド育成自由選択プログラムの研修医当時のメッセージ】

研修医にとって一番大切なことは何でしょうか。私は、将来進む科を含む全ての領域に少しでも多くかかわり、知識と経験を深めていくことだと思っています。

当院は埼玉の西部全域の医療を担い、多くの症例で急性期から慢性期までの患者様を診る「最後の砦」であるため、一般的な疾患から稀なものまで経験できる場だと感じています。

また大学病院の特長である教育にも非常に力を入れています。自身が所属する研究マインドプログラムでは、専攻医の先生方と同じ授業を受け、同じ場で研究成果の報告をし、同じ立場で議論ができるようにご指導をいただいています。

まだ専攻が決まらない、一つの科の知識を深めたい、研究に進むのか臨床に進むのか決まらない、興味がある科がいくつもある。その答えを見つめる研修が、当院では必ず出来ると実感しています。是非一度、見学にいらして下さい。



Y先生：埼玉医科大学病院
産科・婦人科専攻医
Resident：研究マインド育成
自由選択PG
(埼玉医科大学卒)

【埼玉医科大学3病院自由選択プログラムの研修医当時のメッセージ】

私は埼玉医科大学の3病院自由選択プログラムで研修を行なっています。

このプログラムでは、特色の異なる埼玉医大の3病院の各科を自分の学びたいことや将来の進路希望に合わせて自由に選択することができます。

また、当院には教育熱心な先生やスタッフがが多く、業務中に生じた疑問点やキャリアについての悩みなどについて質問をしやすい雰囲気もあるため、各分野の専門家の意見を聞きながら成長することができる環境となっております。

もし当院での研修に興味があれば、是非見学にいらして下さい。



M先生：埼玉医科大学病院
脳神経内科・脳卒中内科専攻医
Resident：3病院自由選択PG
(埼玉医科大学卒)

質問：市中病院ではなくて大学病院を選ばれた理由を知りたいです！

埼玉医科大学病院は大学病院として高度な医療を必要とする疾患を学べるのはもちろんですが、埼玉県西部を中心とした地域の医療を担う病院でもあり市中病院のようにcommon diseaseも沢山学べるため、ほかの大学病院より多くの症例を経験することができます。一次救急の初期対応等の経験も沢山でき、その際も大学病院の利点でもある医師数の層の厚さもあり、救急当直等を含めて常に上級医数名と共に研修を行う体制が出来るので、市中病院を選ぶ理由がありませんでした。

やはり各臓器別専門診療科が揃い、沢山の専門医が在籍している環境で日々の研修中に色々な意見や知識をもった教育熱心な指導医に囲まれて最新情報・正しい知識を得ることが出来るのは魅力です。各診療科における指導医が多いおかげで偏りの無い正しい知識習得に繋がります。当院は大学病院と市中病院の良い所取りの病院です。

また埼玉医科大学の3病院から自由に診療科を選択できるので、自分の興味に併せた研修ができるのも魅力で埼玉医科大学病院を選びました。

メッセージ【Message from Residents】

【研修修了者からのメッセージ】

埼玉医科大学病院の手厚い指導体制の下、適切な診療技術を身に着けることが可能です。また、他大学出身でもスタッフ全体がアットホームな雰囲気[※]で激励しあいながら研修できます。
専門性の高い症例からcommon diseaseまで多彩な経験ができます。

【埼玉医科大学総合医療成広域連携病院自由選択プログラムの研修医当時のメッセージ】

当院を選んだ理由は専攻医や専門医の先生が多く、屋根瓦式の手厚く丁寧な指導の下、診療に携わることができるからです。当院には特定機能病院として専門性の高い疾患が集まる一方で、地域の一般的な疾患も扱うため幅広い症例を経験しながら知識や手技を身に着けることができます。

総合医療成広域連携病院自由選択プログラムの魅力は、埼玉医科大学の3病院から自由に診療科を選択できることに加え、自由選択期間は3病院のほかにも他大学病院や市中病院などから自分の目的に合った環境で研修できることです。

当院の初期研修医は埼玉医科大学出身の方が大部分を占めますが、皆とても親切かつフレンドリーで、アットホームな雰囲気の中でお互い助け合い・刺激し合いながら研鑽を積んでいます。ぜひ気軽に見学しに来ていただければと思います。



M先生：埼玉医科大学
国際医療センター外科専攻医
Resident：総合医療成広域連携
病院自由選択PG
(帝京大学卒)

【埼玉医科大学3病院自由選択プログラムの研修医当時のメッセージ】

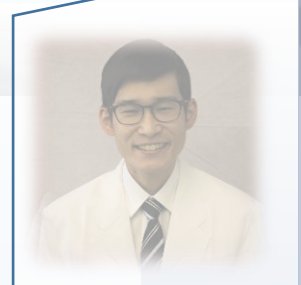
私は3病院自由選択プログラムで研修を行っていますが、最大の長所は自由度の高さだと思っています。

埼玉医科大学病院、国際医療センター、総合医療センターの3病院はいずれも高度専門医療を提供する大型病院であり、選択次第でcommon diseaseだけでなく、興味のある疾患群を集中的に経験することもできます。

短所としては自由度が高すぎるために診療科選択に迷うことですが、事前に実際に現場で働いている研修医に相談することもできます。

私は他大学出身ですが、非常に親切な先輩研修医や同期に恵まれ、各診療科では多様な症例を経験させていただき、充実した研修を行っています。

病院見学は随時可能ですので、よろしければぜひいらして下さい。お待ちしております。



K先生：埼玉医科大学病院
神経精神科・診療内科専攻医
Resident：3病院自由選択PG
(東海大学卒)

埼玉医科大学病院の研修医で女性は何人くらいですか

各年度の研修医のうち女性は3割くらいです。当院は男性、女性に関係なくとても仲良く協力しあいながら研修をしています。また、当院は研修開始時に同期全員同じデザイン（研修医がデザインを選べる）のスクラブを病院負担で支給してもらえるので同期みんなで相談しあいながら作ったデザインのスクラブを着て一致団結して研修しています。

メッセージ【Message from Residents】

【研修修了者からのメッセージ】

埼玉医科大学病院はとにかく教育熱心な先生方が多く、
手厚い指導体制の下、多岐にわたる症例を経験することが可能です。
また、初期研修修了後も引き続き専門研修ができる基本領域
専門医プログラムがあります。

【埼玉医科大学総合医育成広域連携病院自由選択プログラムの研修医当時のメッセージ】

私は埼玉医科大学病院の3病院に加え、他大学病院などの協力型臨床研修病院もローテーション
できる総合医育成広域連携病院自由選択プログラムで研修を行っています。
同じ診療科でも3病院それぞれの特徴があるため、自分の希望に合った研修ができ、また、他病
院でも研修を行うことで、より幅広く充実した研修を行うことができます。
教育熱心な先生方の細やかな指導の下、研修医も診療に深く携わらせてもらえる機会も多く、着
実に知識や技能を身につけることができます。
ぜひ一度、見学にいらしていただき、当院の魅力の一つである整った研修施設や温かみと活気のある
雰囲気も体感していただきたいと思います。



M先生：埼玉医科大学
総合医療センター腎・高血圧内科専攻医
Resident：総合医育成広域連携病院
自由選択PG
(埼玉医科大学卒)

【埼玉医科大学3病院自由選択プログラムの研修医当時のメッセージ】

当院は大学病院として高度な医療を必要とする疾患を学べるのはもちろんのこと、埼玉県西部の
地域中枢病院としてcommon diseaseも学べるため、ほかの大学病院より多くの症例を経験す
ることができます。また3病院から自由に診療科を選択できるので、自分の興味に併せた研修が
できるのが魅力です。
3病院の本院として教育にも力を入れており、熱心にかつ丁寧に指導して下さる先生が多いです。
また医者同士だけでなく、看護師などの多職種の人とも学びあうことができます。
研修医はお互いに学んだことを教えあったり一緒に症例検討を行ったりと、一人では得られない
多くの知識・情報を得ることが出来ます。このような時間は自分にとってとても貴重な時間だと
感じています。
埼玉での研修を検討している方はぜひ一度見学にいらしてください。



H先生：埼玉医科大学病院
内分泌内科・糖尿病内科専攻医
Resident：3病院自由選択PG
(埼玉医科大学卒)

埼玉医科大学病院を臨床研修病院として選んだ理由はなんですか

決めてとなったのは指導してくれる先生がとても熱心に教えてくださる方ばかりで、自ら「やる気がある」ことを示すことにより、さらに熱心に教えてくださいます。真面目に取り組み、やる気のある方には特におすすめです。

プログラム【Outline of Program】

埼玉医科大学3病院自由選択プログラム

定員38名



【おすすめのポイント1】

<https://www.saitama-med.ac.jp/hospital/resident/ishirinshokenshu/program/3byoin.html>

このプログラムはその名の通り埼玉医科大学3病院の各診療科を選択可能な研修医の自主性に任せた自由度の高いプログラムです。

【おすすめのポイント2】

将来の専門領域を決めている方、これから研修中にじっくりと決めようとしている方、**全ての方におすすめ**の最も定員の多いプログラムです。

本学3病院はそれぞれ特色のある特徴をもった大学病院ですので、魅力ある研修をすることが可能です。さらに本学3病院に加えて豊富な協力病院・協力施設をローテートすることで、他に類をみない症例数の多さや多彩さで効率的な研修を行うことができます。

●埼玉医科大学

3病院自由選択プログラム / 研究マインド育成自由選択プログラム / 総合医育成広域連携病院自由選択プログラム
(ローテート順の一例 ※1年目の内科研修や救急研修は連続して研修を受ける必要はありません。)

年次	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	導入研修 (4W)	内科必修研修 (24W) 6カ月					救急必修研修 (12W) 3か月			外科 必修研修 (4W)	小児科 必修研修 (4W)	
2年次	産婦人科 必修研修 (4W)	精神科 必修研修 (4W)	地域医療 必修研修 (4W)	自由選択研修 (44W) 実質9か月								

【全てのプログラム共通の確認事項】

研修開始と最後の各4週を当院の診療科にて研修していただきます。
臨床研修制度により2年間の研修期間のうち合計で1年以上は
基幹病院（当院）の診療科を選択し研修していただきます。

※導入研修とは

当院では研修医（社会人）になりたての最初の1か月間を導入研修期間とし、当院の診療科（臨床研修センターで決定）で研修を開始していただきます。

最初の1週間は入職時オリエンテーションにて、入職後の諸手続きや当院の研修医としての決まり事、病院職員としての重要事項確認の他、電子カルテの操作、基本的な手技、診察方法などを身につけることを目的とした座学やセミナーを受けていただきます。

その後、診療科へ配置され具体的なレクチャー・研修が開始されます。

プログラム【Outline of Program】

埼玉医科大学総合医育成広域連携病院自由選択プログラム

定員8名

【おすすめのポイント1】

このプログラムは当院の指導医が検討した臨床研修の
神髄が入れられたプログラムです。

このプログラムにより、研修医はバランス良く
“良医”になるための基盤を築くことができます。

<https://www.saitama-med.ac.jp/hospital/resident/ishirinshokenshu/program/sougou.html>



プログラムの詳細へのQRコード

【おすすめのポイント2】

将来、総合医を目指したい方や本学3病院で1年間研鑽を積んだ後、2年目の自由選択
研修期間に他大学の診療科にて研修したい方、意欲的に研修し良医になるための
基盤を築きたい方におすすめです。

このプログラムは、1年目から本学3病院の診療科をローテートでき、2年目の自由選択で
本学3病院に加え、他大学の診療科をローテート出来る最も選択肢の多い、贅沢な研修（恵ま
れた選択）を可能とするプログラムです。

本学3病院はそれぞれ特色のある特徴をもった大学病院ですので、本学3病院だけでも魅力ある研修をする
ことが可能で、そのうえ、本学3病院+他大学の診療科、さらに加えて豊富な協力型病院・協力施設をロー
テートすることで、他に類をみない経験や、症例数の多さや多彩さで効率的な研修を行うことができます。

※1年次前半（10月まで）に経験した本学3病院での研修をふまえて、11月頃に実施される2年次ローテ先調査において、
結果的に広域連携病院（本学3病院以外）での研修を希望しないという選択も可能です。

（基本ベースとなるプログラムは3病院自由選択プログラムとなっており、広域連携病院を選択しない
場合は、選択可能研修先は3病院自由選択プログラムと同様となります）

年次	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	導入研修 (4W)			内科系研修部 (24W) 6ヶ月					外科系研修部 (30W) 3ヶ月		外科 研修部 (4W)	小児科 研修部 (4W)
2年次	産婦人科 研修部 (4W)	精神科 研修部 (4W)	地域医療 研修部 (4W)				自由選択研修部 (44W) 実習3ヶ月					

【自由選択研修：選択可能な大学病院と診療科】

▶埼玉医科大学病院群（埼玉医科大学病院、総合医療センター、国際医療センター）における原則全診療科

以下、広域連携病院

▶群馬大学医学部附属病院：消化器・肝臓内科、循環器内科、腎臓・リウマチ内科、血液内科、脳神経内科、内分泌糖尿病内科、呼吸器・アレルギー病内科、精神科神経科、小児科、循環器外科、呼吸器外科、消化管外科、乳腺・内分泌外科、小児外科、整形外科、皮膚科、泌尿器科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線科、核医学科・画像診断部、産科婦人科、麻酔科蘇生科、脳神経外科、集中治療部、救命・総合医療センター（救急部門）、救命・総合医療センター（総合診療部門）、病理部、臨床検査医学・検査部・感染制御部、リハビリテーション部、臨床試験部

▶信州大学医学部附属病院：内科（1）呼吸器・感染症内科・アレルギー内科、内科（2）消化器内科、血液内科、腎臓内科、内科（3）脳神経内科、リウマチ・膠原病内科、内科（4）糖尿病・内分泌代謝内科、内科（5）循環器内科、精神科、小児科、皮膚科、放射線科、外科（1）消化器外科、移植外科、小児外科、外科（2）心臓血管外科、乳腺・内分泌外科、呼吸器外科、整形外科、泌尿器科、眼科、耳鼻いんこう科、産科婦人科、麻酔科蘇生科、形成外科、救急科・高度救命救急センター、総合診療科、臨床検査部、包括的がん治療学講座

▶慶應義塾大学病院：呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、腎臓・内分泌・代謝内科、神経内科、血液内科、リウマチ・膠原病内科、一般・消化器外科、小児外科、心臓血管外科、呼吸器外科、脳神経外科、麻酔科、整形外科、形成外科、小児科、産科婦人科、眼科、皮膚科、泌尿器科、耳鼻咽喉科、精神・神経科、放射線治療科、放射線診断科、リハビリテーション科、救急科、中央臨床検査部、病理診断部、漢方医学センター、漢方医学センター、血液浄化・透析センター、感染制御センター

▶日本大学医学部附属板橋病院：総合科（内科・外科）、呼吸器内科、血液・膠原病内科、腎臓・高血圧・内分泌内科、消化器・肝臓内科、糖尿病・代謝内科、脳神経内科、循環器内科、精神神経科、小児科、消化器外科、心臓外科、血管外科、呼吸器外科、整形外科、産婦人科、泌尿器科、皮膚科、麻酔科、救命救急センター、耳鼻咽喉科、眼科、脳神経外科、放射線科、病理診断科、臨床検査医学科、形成外科、乳腺内分泌外科、小児外科

▶獨協医科大学病院：心臓・血管内科、消化器内科、血液・腫瘍内科、循環器内科、腎臓・高血圧内科、脳神経内科、内分泌代謝内科、呼吸器・アレルギー内科、精神神経科、皮膚科、放射線科、感染制御・臨床検査医学（感染制御センター）、小児科、第一外科、第二外科、心臓・血管外科、呼吸器外科、脳神経外科、整形外科、泌尿器科、眼科、耳鼻咽喉科・頭頸部外科、産科婦人科、麻酔科、救急科（救命救急センター）、形成外科・美容外科、リハビリテーション科、健康管理科、病理学（部）

▶岩手医科大学附属病院：消化器内科、肝臓内科、糖尿病・代謝内科、腎臓内科、内分泌内科、循環器内科、呼吸器内科、アレルギー科、血液・腫瘍内科、神経内科、老年内科、外科、脳神経外科、心臓血管外科、呼吸器外科、整形外科、形成外科、産婦人科、小児科、耳鼻咽喉科、眼科、皮膚科、泌尿器科、放射線科、精神神経科、麻酔科、救急科、臨床検査科、病理診断科

▶東海大学医学部附属病院：循環器内科、呼吸器内科、消化器内科、血液腫瘍内科、リウマチ内科、脳神経内科、総合内科、腎内分泌代謝内科、心臓血管外科、移植外科、呼吸器外科、消化器外科、乳腺外科、小児外科、脳神経外科、整形外科、形成外科、小児科、産婦人科（産科・婦人科）、眼科、皮膚科、泌尿器科、救命救急科、耳鼻咽喉科、精神科、放射線治療科、画像診断科、麻酔科、リハビリテーション科、臨床検査科、病理診断科

プログラム【Outline of Program】

埼玉医科大学研究マインド育成自由選択プログラム

定員3名

【おすすめのポイント1】



プログラムの詳細へのQRコード

<https://www.saitama-med.ac.jp/hospital/resident/ishirinshokenshu/program/kenkyu.html>

このプログラムは臨床研修と社会人大学院生を両立したい方、志を高く持ち、少ない時間を有効に使い、**自分の可能性を信じて**、若いエネルギーで邁進する方にはお勧めです。

【おすすめのポイント2】

このプログラムは、臨床研修を優先し、夜間や休日など**臨床研修の行われていない時間を利用して**研究（基礎または臨床）も行うという主旨のプログラムです。

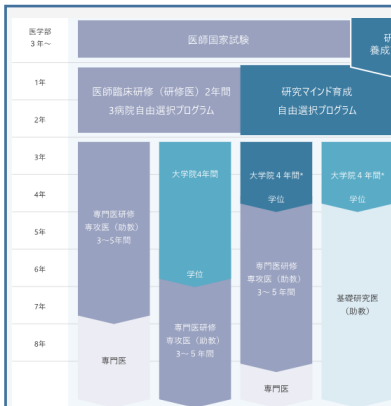
このプログラムに参加することで、社会人大学院生として、1年目は研修中心としてオフタイムに合わせて夜間開講の大学院講義などを受け、2年目の自由選択時期から臨床研修の行われていない時間を利用して専門的な研究への第一歩を踏み出すことも可能になります。

勿論、「二兎を追うものは一兎も得ず」にならない様に初期臨床研修を優先して最大限の配慮をします。初期臨床研修と研究は誰でも出来るとは考えていませんが、大変な分、将来への実りも大きいです。

基礎医学に進もうと思っている人のみならず、臨床医にとっても**研究マインドは一生涯を通じて必要欠くべからざるものです。**

このプログラムで選択可能な病院・診療科は3病院自由選択プログラムと原則同様です。

年次	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	導入研修 (4W)	内科必修研修 (24W) 6か月					緊急必修研修 (3.2W) 3か月			外科必修研修 (4W)	小児科必修研修 (4W)	
2年次	産婦人科必修研修 (4W)	整形外科必修研修 (4W)	地域医療必修研修 (4W)	自由選択研修 (4W) 実習3か月								



【注意点】

このプログラムにおける採用（研修開始）の条件として、**研修開始前に埼玉医科大学の大学院入学試験に合格しておく必要があります。**

埼玉医科大学の大学院入学試験その他大学院履修の詳細は埼玉医科大学の大学院案内等をご参照ください。

大学院に関するお問い合わせは埼玉医科大学大学院担当へご質問ください。



埼玉医科大学 大学院のHPへのQRコード

<https://www.saitama-med.ac.jp/education/>

プログラム【Outline of Program】

埼玉医科大学基礎研究医プログラム 定員1名



【おすすめのポイント1】

このプログラムは臨床研修と基礎系の社会人大学院生を両立したい方、基礎研究医を目指すことを考えている方を対象とし、基礎系大学院へ入学し、それと同時に本プログラムを並行して研修することにより、臨床研修を行いながら、途切れることなく継続して、基礎医学に従事する医師を目指すことの出来るプログラムです。

【おすすめのポイント2】

1年目には臨床研修を行いながら夜間の大学院講義に出席する程度に留め、2年目で基礎医学研究を開始する前（2年目中間）に、臨床研修の到達目標の到達度評価を行い、臨床研修修了基準に到達していると確認出来た後に、基礎医学の研究に20週間費やすことが出来る厚労省より、大学病院本院に限り設置が認められた特別プログラムです。

※通常のマッチング制度の選考、発表とは別の対応となります。
（ご希望の場合は臨床研修センターへお問合せください）

●埼玉医科大学 基礎研究医プログラム

（ローテート順の一例 ※1年目の内科研修や救急研修は連続して研修を受ける必要はありません。）

年次	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	導入研修 (4W)	内科必修研修 (24W) 6カ月					救急必修研修 (12W) 3か月			外科 必修研修 (4W)	小児科 必修研修 (4W)	
2年次	産婦人科 必修研修 (4W)	精神科 必修研修 (4W)	地域医療 必修研修 (4W)	自由選択研修（臨床研修） (24W) 実質4カ月			選択研修（基礎医学研修） (20W) 5カ月					

選択研修（基礎医学研修）：埼玉医科大学（法医学、解剖学、薬理学、生化学、免疫学、病理学、微生物学、生理学、生物統計学、ゲノム基礎医学、ゲノム応用医学）

【注意】

このプログラムにおける採用（研修開始）の条件として、
研修開始前に埼玉医科大学の大学院入学試験に合格しておく必要があります。
また、臨床研修後、4年以内を目処に、作成した基礎医学の論文を、研修管理委員会に提出し厚生労働省へ報告する必要があります。

埼玉医科大学の大学院入学試験その他大学院履修の詳細は
埼玉医科大学の大学院案内等をご参照ください。

大学院に関するお問い合わせは
埼玉医科大学大学院担当へご質問ください。
<https://www.saitama-med.ac.jp/education/>



埼玉医科大学 大学院の
HPへのQRコード

プログラム【Outline of Program】

埼玉医科大学周産期・成育医療専門医自由選択プログラム 定員4名

【おすすめのポイント1】

このプログラムは将来周産期医療・成育医療を専攻する希望のある臨床研修医を対象に、自由選択期間を最大限に活用した、特別プログラムです。本学3病院の他に他大学等の診療科を選択することが可能です。

<https://www.saitama-med.ac.jp/hospital/resident/ishirinshokenshu/program/shusanki.html>



プログラムの詳細へのQRコード

【おすすめのポイント2】

本プログラムは単に周産期医療・成育医療に関連した研修期間が長いだけでなく、将来の専門医取得にも有利な、より専門的な内容まで踏み込んだ指導が行われます。ただし、専門研修における専攻科を強制するものではありません。

●埼玉医科大学 周産期・成育医療専門医自由選択プログラム/定員 4名

(ローテーション順の一例 ※1年目の内科研修や救急研修は連続して研修を受ける必要はありません。)

年次	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	導入研修 (4W)	内科必修研修 (24W) 6カ月					救急必修研修 (12W) 3か月			外科 必修研修 (4W)	精神科 必修研修 (4W)	
2年次	地域医療 必修研修 (4W)	小児科 必修研修 (4W)	産婦人科 必修研修 (4W)	周産期・成育医療研修 (必修研修小児科・産婦人科4Wを含む合計52W：実質11か月)								

【周産期・成育医療研修：選択可能な病院と診療科】

合計52週間、以下病院の小児科部門と産婦人科部門をおののおの最低8週以上研修し、かつ当院の産婦人科と小児科で必ず4週以上研修する。
なおこれ以外の研修先は、プログラム責任者と相談のうえ埼玉医科大学病院の診療科より決定する。

- ▶埼玉医科大学病院 (産科・婦人科、小児科、NICU、小児外科)
- ▶総合医療センター (産婦人科、総合周産期母子医療センター母体・胎児部門、総合周産期母子医療センター麻酔科部門、小児科、総合周産期母子医療センター新生児部門)
- ▶国際医療センター (婦人科腫瘍科、小児心臓科、小児腫瘍科)

以下の病院の研修期間は、1施設4週以上とし合計3病院(12週)までとする。

- ▶群馬大学医学部附属病院 (産科婦人科、小児科)
- ▶信州大学医学部附属病院 (産科婦人科、小児科)
- ▶慶應義塾大学病院 (婦人科、産科、小児科)
- ▶日本大学医学部附属板橋病院 (産婦人科、小児・新生児病科)
- ▶獨協医科大学病院 (産科婦人科、小児科)
- ▶岩手医科大学附属病院 (産婦人科、小児科)
- ▶東海大学医学部附属病院 (産婦人科、小児科)
- ▶鹿児島市立病院 (産婦人科、新生児内科)



プログラム【Outline of Program】

埼玉医科大学病院外科系プログラム 定員2名



プログラムの詳細へのQRコード

<https://www.saitama-med.ac.jp/hospital/resident/ishirinshokenshu/program/geka.html>

【おすすめのポイント1】

このプログラムは外科領域の研修に重点をおいたプログラムであり、
外科系診療科をはじめとし
麻酔科、救急での研修を行うことができます。

【おすすめのポイント2】

このプログラムは外科専門医取得において重点をおくべき消化器外科は必須で
必修研修として当院の消化器・一般外科を8週間研修していただきます。

その他の必修研修期間や自由選択研修期間は
原則、埼玉医科大学3病院の診療科から選択することが可能です。

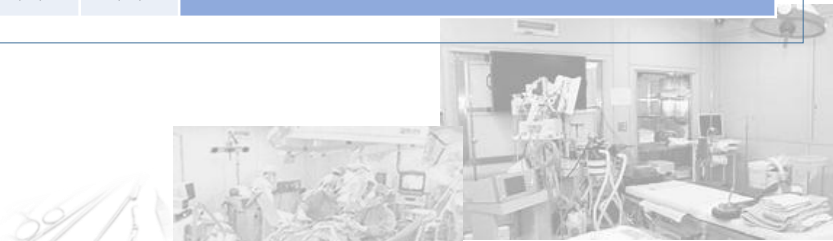
2年目の外科系選択研修では、心臓外科、呼吸器外科、乳腺外科、小児外科の他、
整形外科、形成外科、泌尿器科、産婦人科を選択し研修することが可能です。

臨床研修において、すべての外科症例を経験することは不可能ですが、
今後の専門医取得に向けた専門研修にスムーズに移行できるプログラムを
目指しています。

●埼玉医科大学病院 外科系プログラム/定員 2名

(ローテート順の一例 ※1年目の内科研修や救急研修は連続して研修を受ける必要はありません。)

年次	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	導入研修 (4W)		内科必修研修 (24W) 6カ月					救急必修研修 (12W) 3か月			麻酔科 ※必修研修 (8W) 2か月	
2年次	外科 ※必修研修 (4W)		小児科 必修研修 (4W)	産婦人科 必修研修 (4W)	精神科 必修研修 (4W)	地域医療 必修研修 (4W)	外科系選択研修 (上限20W : 5カ月)				自由選択研修 (上限12W : 3か月)	



協力型病院・協力施設 [Training Institutions]

【ポイント】
恵まれた学内の連携体制

埼玉医科大学病院群相互連携

埼玉医科大学 医学教育センター
埼玉医科大学 医療人育成支援センター

共同主催

- 埼玉医科大学病院群の指導体制整備：埼玉医科大学病院群臨床研修指導医講習会開催（1回/年）
- 研修医の診療手技向上：腹部超音波・消化器内視鏡 実践セミナー開催（1回/年）
- 研修医・専攻医の診療能力向上（心肺蘇生と重篤な急性疾患・病態悪化への適切対応等基礎習得）：埼玉医科大学JMECC開催（3回/年）

埼玉医科大学 医療人育成支援センター

- 研修環境の支援：UpToDate使用環境整備、研修医海外派（留学）遣制度、優秀研修医表彰制度、等
- 女性医師支援：女性医師支援に関するサポート、相談窓口を開設（各病院の産婦人科医師による）
- 医療人育成支援センター運営会議開催（11回/年）（関係部門：初期臨床研修部門、キャリア形成支援部門、生涯学習部門、女性医師支援部門、シミュレーション教育部門、地域医学推進センター、地域卒業奨学金部門、基礎医学部門、保健医療学部部門、大学院部門との連携）

協力体制

埼玉医科大学 病院群臨床研修センター

協力型（基幹型）

埼玉医科大学総合医療センター

協力型（基幹型）

埼玉医科大学国際医療センター



臨床研修センター



臨床研修センター

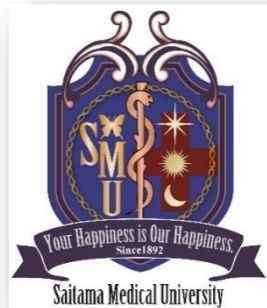


病院群臨床研修センター
相互連携

臨床研修センター

基幹型
（協力型）

埼玉医科大学病院



Saitama Medical University

協力施設

後方支援・協力体制

丸木記念福祉メディカルセンター



【ポイント】 圧倒的な連携体制

協力型病院・協力施設【 Training Institutions】

本学プログラムの中でも選択可能施設数が最多

本学3病院（一部のプログラムは3病院に加えて他大学の診療科）と、豊富な協力型病院・協力施設をローテートすることで、他に類をみない経験や、症例数の多さや多彩さで効率的な研修を行うことができます。

協力施設

（2年目の選択研修にて選択可能）

- ▶ 埼玉県内施設：
 - 帯津三敬病院/関越病院/埼玉よりい病院/坂戸中央病院/シャローム病院/新久喜総合病院/秩父市立病院/秩父病院/小鹿野中央病院/原田病院/光の家療育センター/東松山市立市民病院/丸木記念福祉メディカルセンター/東埼玉総合病院/荒船医院/岡村記念クリニック/越生メディカルクリニック/鶴ヶ島在宅医療診療所/ハーモニークリニック/ゆずの木台クリニック/HAPPINESS館クリニック/保健所/埼玉県赤十字血液センター/育心会/薫風園/埼玉医科大学訪問看護ステーション/健診実施施設：埼玉医科大学病院予防医学センター
- ▶ 北海道内施設：大川原脳神経外科病院
- ▶ 東京都内施設：新渡戸記念中野総合病院
- ▶ 新潟県内施設：新潟病院
- ▶ 長崎県内施設：
 - 小値賀町国民健康保険診療所/青洲会病院/富江病院/奈留医療センター
- ▶ 鹿児島県内施設：南さつま市立坊津病院
- ▶ 沖縄県内施設：宮古島徳洲会病院/沖縄県立八重山病院



協力型病院

- ▶ 埼玉医科大学病院群：（1年目から研修可能）
 - 総合医療センター/国際医療センター
- （2年目の選択研修にて選択可能）
- ▶ 埼玉県立4病院及び埼玉県内赤十字2病院：
 - 埼玉県立小児医療センター/埼玉県立精神医療センター/埼玉県立がんセンター/埼玉県立循環器・呼吸器病センター/さいたま赤十字病院/小川赤十字病院
- （プログラムにより制限があります）
- ▶ 他大学等病院：
 - 群馬大学医学部附属病院/信州大学医学部附属病院/慶應義塾大学病院/日本大学医学部附属板橋病院/獨協医科大学病院/岩手医科大学附属病院/東海大学医学部附属病院/鹿児島市立病院



埼玉医科大学病院HP
協力病院・協力施設 QRコード

<https://www.saitama-med.ac.jp/hospital/resident/ishirinshokenshu/kyoryoku.html>

指導体制【Style of Training】

【ポイント】
充実の指導体制・サポート体制

▶ 臨床研修指導医 ◀

埼玉医科大学病院の指導医は担当する分野における研修期間中に上級医と協力の上、研修医毎に臨床研修の目標の達成状況を把握し、研修医に対する指導を行います。また、研修医の健康状態に留意し研修環境を調整します。なお、EPOC評価入力を担当するとともに研修の全体評価を委員会へ報告します。

※指導医の条件

埼玉医科大学病院の指導医は、臨床経験7年(84ヶ月)以上の経験を有した医師であり、また、厚生労働省が認めた臨床研修指導医講習会を受講した者です。

【ポイント】 埼玉医科大学病院群では年1回、厚生労働省の承認を得て臨床研修指導医講習会を開催し、本学3病院の指導医を毎年30名以上養成、指導体制を強化しております。

▶ 上級医 ◀

埼玉医科大学病院の上級医は、研修期間中チームの一員として指導医と共に日々の指導を行います。

【ポイント】 埼玉医科大学病院では屋根瓦式教育を行っており、指導医・上級医と共にチームとなり研修を行っております。

▶ 担任制度(Mentor制度) ◀

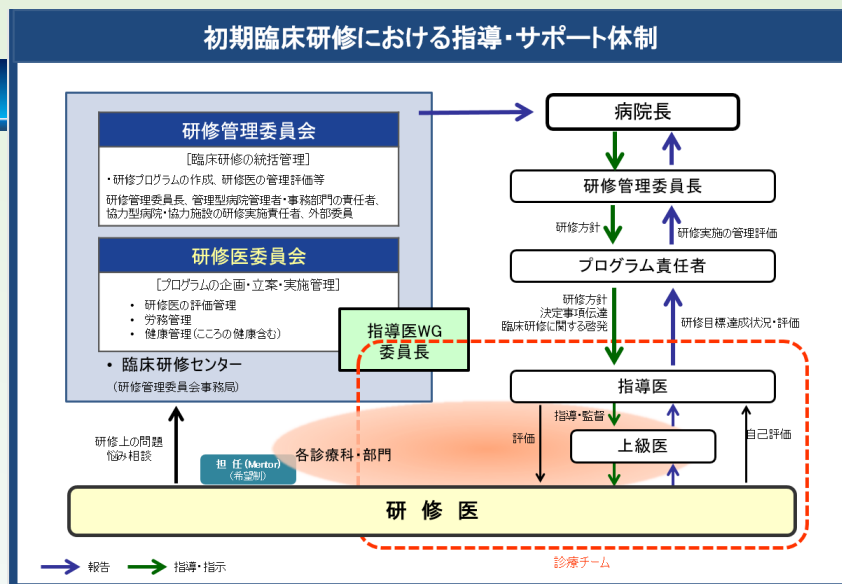
埼玉医科大学病院では担任制度を利用することができます。(希望制)

担任と研修医との間で
「こころの交流と情報の交換の場」を実現することを目標としています。

万一問題が生じた時に、担任が研修医の相談窓口となるためにつながりを作っておきます。

- 担任は5名までの研修医を受け持つ事ができます。
- 担任は研修医の希望を基に人生の先輩として相談しやすい医師(教授以外)より選ぶ事ができます。
- 担任は年に2回程度、研修医との交流の場を設けます。
- 担任は研修医に問題(研修内容、勤務内容、心身の健康、経済、事故、人間関係等々)が生じた時、適切な相談窓口を紹介します。
- 担任は、受け持ち研修医に関する報告書を委員会に提出します。

【ポイント】 他大学出身の方がご利用しやすいように、ご希望により臨床研修センターにておすすめの担任を紹介するなどのサポートも行います。お気軽に相談してください。



指導体制【Style of Training】

【ポイント】 充実の指導体制・サポート体制

※入職時オリエンテーションは1年目研修開始から1週間

医師として身につけておくべきことを中心に講義が行われます。
講義の他にもME（Medical Engineering）機器取扱い輸液管理研修、
手技トレーニング・縫合結紮（けっさつ）セミナー、
BLS（一次救命処置）研修、電子カルテの操作説明等が行われます。



※導入研修とは1年目研修開始から4週間

基本的な手技、診察方法などを身につけることを目的としています。

※ランチョンセミナー

毎週木曜日のランチタイムに研修医対象のセミナーを実施しています。
初期研修に必要な知識や臨床研修到達目標の項目より担当する診療科に
該当する症候・疾患についての内容にて実施しています。



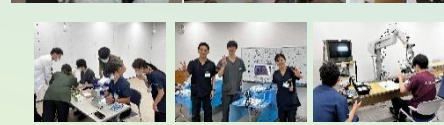
※CPCカンファレンス（臨床病理検討会）

年間11回8月を除く毎月開催されます。臨床研修ガイドラインにより、研修医として関わりをもった
症例について各人で症例呈示、CPC症例サマリー作成が求められています。



※腹部超音波・消化器内視鏡実践セミナー

診療手技向上を目的として研修医対象に毎年実践セミナーを実施
しています。



※JMECC（Japanese Medical Emergency Care Course）

研修医・内科専攻医対象に毎年3回実施しています。

※基本的臨床能力評価試験（GM-ITE®）

臨床研修のアウトカムの客観化を目的に全員必須で実施
しています。



※Surgical Morolympics<外科系ハンズオンセミナー>等ハンズオンセミナー

研修医対象に企画し実施しています。

※学会参加率の向上と学会発表（論文作成）指導/ Academic Morolympics <学会発表支援・表彰>

ローテート先診療科が参加する各学会に同行参加可能な他、論文作成等の指導を受けることができ、学会発表の機会も与えられます/
双方向のマッチングシステムにて各診療科が発表者（研修医）を募集し、発表を希望する研修医が応募、学会発表しやすく支援いたします。

キャリア形成サポート

埼玉医科大学病院群は、埼玉医科大学病院・埼玉医科大学総合医療センター・埼玉医科大学国際医療センターの3つの独立した機能を持った異なる病院の集合体で、合計で約2700床を有する大規模なメディカルセンターを形成しており、それぞれの特徴を生かした専門性の高い、総合的な医療をおこなっています。研修医は、これらの病院で多様な経験を積むことができます。また、初期研修に適した臨床研修病院として、毎年多くの研修医を受け入れており、次年度のプログラムも3病院それぞれ特色のある特徴を生かした研修プログラムが用意されています。そして、病院群は新専門医制度における19基本領域の全てにおいて基幹型病院となっており、**初期研修修了後は希望により、そのまま3病院のいずれかの診療科において専攻医（常勤）として継続することも可能です。**

3病院の専門医研修プログラムの特徴としては、症例数の多さ・多彩さ、専門医の多さと質の高さ、高度な医療内容と設備、**埼玉県唯一の規模を誇るシミュレーショントレーニングセンター**を持ち、診療手技セミナー開催、基礎研究・臨床研究等の研究体制が身近にあることで統計的なサポートも含め、論文執筆に苦勞しないことなどです。

3つの病院には、それぞれの機能を有効に使った初期・後期の研修プログラムがあり、3病院やそれぞれの連携施設をローテートすることで、他に類を見ない症例数の多さと多彩さで、効率的な初期研修及び専門医研修を行うことができます。

初期研修修了後にも、社会人大学院制度を利用して、専門医研修を行いながら学位取得も可能です。

さらに、各キャンパス内保育園完備、時間勤務が可能な勤務制度（常勤時短）、産婦人科女性医師による相談窓口の設置など、女性医師支援体制も充実しています。

臨床研修医の皆さんへ
働く女性医師 応援 プロジェクト

2022年4月
臨床研修医の皆さんへ
産婦人科を受診し
サポートを開始し

産婦人科で相談できる事
HPVワクチンの相談 子宮がん検診
月経が辛い、月経前になると眠い(PMS) 月経を移動した
プレコンセプションケアの相談

【 初期から後期のキャリア進路例 】

医師免許取得後年数

進路モデル

社会人大学院

埼玉県地域枠奨学生

1・2年目

初期臨床研修

3～5年目

基本19領域 専門研修

6・7年目～

サブスペシャルティ29領域 専門研修

大学院（4年間）※開始時期は選択することができる

埼玉医科大学3病院（専門研修中の3年間は大学勤務をカウントできる）合計が9年になれば返済免除

専攻医専門研修修了後

本学3病院以外の指定地域医療機関

施設紹介 [Introduction of Facilities]

【ポイント】

充実した研修を実現する
大学病院ならではのアカデミックな環境と
県内最大級の規模を誇る手技トレーニング施設

埼玉医科大学病院は大学の本院であり、大学附属図書館やシミュレーショントレーニングセンターの利用が可能でみなさんに恵まれた研修環境が用意されています。また、当院は埼玉県の西部を中心とした地域の医療を担うと同時に、特定機能病院として埼玉県西部から北部地域を中心とした埼玉県全域の医療も担当しています。

埼玉県人口は734万人を数え、当院には多くの患者が来院するためcommon diseaseから専門性の高い症例まで多種多様な疾患を数多く経験できます。また、医師層も厚く、熱心な指導医が多いのも自慢の一つです。当院には専門医制度にマッチした診療科やアイセンター、てんかんセンター、難病外来等特徴ある科が充実している他、県内最大級のシミュレーショントレーニングセンターでのセミナー等も開催しています。

埼玉医科大学病院は緑あふれる自然豊かな落ち着いた環境下で研修をすることができます。2019年に全面改装を行った広々とした宿舎も病院の敷地内にあり通勤時間短縮につながります。また、約1時間で都内に行くことも可能で、学会等へ参加し易いアクセスの良い環境にあります。このような環境の下、多くの医師や研究者が日々臨床や研究に励んでいます。

※このアクセスの良さと、恵まれた研修環境は埼玉医科大学病院の魅力の一つで臨床研修を行うにも、最適な環境と言えます。



埼玉医科大学病院HP 研修施設 QRコード

研修環境

<https://www.saitama-med.ac.jp/hospital/resident/about/trainingfacility.html>



研修医の宿舎

(写真は男子用の宿舎)
病院敷地内にあり、机、ベッド、キッチン(HH)、冷蔵庫、エアコン、バス、トイレを完備しています。
24時間の管理人常駐。

※男子用は有料のコインランドリー設置有、共同キッチンスペース(電子レンジ)有。
※女子用は室内に洗濯機、電子レンジ完備。

その他、Wi-Fiも完備しています。

個室、月額2万円
(光熱水費含み・リネンサービス込み)
※月2万円の補助有



研修医室

研修医個人専用の机、ロッカー完備、電子カルテ、共用パソコン(インターネット接続可能)8台設置、複合機ネットワークプリンター、Wi-Fiも完備しています。その他に、冷蔵庫、電子レンジ、空気清浄機も完備しています。

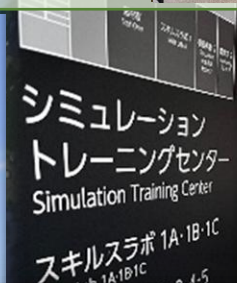


臨床研修管理委員会事務局
研修医室1
研修医室2



研修医専用当直室・シャワー室完備(男女別)

院内施設



タリーズコーヒー

喫茶

カフェテリア

フォンテーン

書店

売店

ATM

ゆうちょ銀行

施設紹介【Introduction of Facilities】

【ポイント】
大学病院ならではのアカデミックな環境

埼玉医科大学病院は大学の本院という利点を生かしたキャリア形成サポートにも力を入れています。卒前から卒業後そして生涯教育へと切れ目無く繋がる医療人の教育・育成は、大学および教育病院において極めて重要な課題と考えております。

教育実習棟 カタロスタワー

シミュレーショントレーニングセンター



医療の現場での技能習得は、もっぱら指導者・先輩の技能を頼り真似することで習得する旧来の職人教育からシミュレータを用いた学習者・研修者主体の能動的なものへと変化しております。本学でも、新臨床研修制度発足に合わせスキルラボが開設され、卒前・卒業後の技能教育に活用されてまいりました。初期研修医の導入研修に加え、腹部超音波や内視鏡など高度なシミュレータを用いたトレーニング・実践セミナー、最近では、高規格の全身型シミュレータを用いたシナリオベースドトレーニングも行われるようになってまいりました。今後も、一人ひとりのスキルアップのみならず、チーム医療実践の研修を目的とした講習会やセミナーなどを企画します。



Info	案内 Information
7	コンシリウムホール Concilium Hall
6	OSCEセンター OSCE Center 演習室 6A-6B-6C-6D 601~617 Center Room 6A-6B-6C-6D
5	OSCEセンター OSCE Center 演習室 5A-5B-5C 501~517 モニター室 Center Room 5A-5B-5C
4	シミュレーショントレーニングセンター Simulation Training Center スキルスラブ 1A-1B-1C スキルスラブ 2-3-4-5 模擬病室 1-2 観察室 1-2 管理室 Skill Lab 1A-1B-1C, 2-3-4-5, 6-7-8-9-10, 11-12, 13-14-15, 16-17-18-19-20
3	実習室 3 ラーニングスタジオ:メディス ラーニングコム:ユニクス Learning Studio: Med, Learning Com: Unix
2	実習室 2A 実習室 2B 実習室 動物室 Laboratory 2A, Laboratory 2B, Animal Medicine, Animal Experiment Room 教員研究室 Faculty Office
1	クロード・ベルナルド ホール ラーニングスタジオ:ミネルヴァ Claude Bernard Hall, Learning Studio: Minerva ラーニングコム1:シリウス ラーニングコム2:スタラ エントランス Learning Com:1 Sirius, Learning Com:2 Stella, Entrance
B1	実習室 1 ラーニングコム:ジュピター Learning Com: Jupiter

図書館(電子コンテンツ)

図書館

◆電子ジャーナル
図書館 HP の「ジャーナルタイトル検索」から検索可能

日々の診療から学会発表や論文執筆などにおいて先輩たちが有効利用しています!

◆EBM ツール
UpToDate: エビデンスに基づいた臨床意思決定支援情報源

Current Decision Support: 次世代診療マニュアル 全処方薬の薬剤情報と診療報酬情報の検索が可能

◆電子教科書(電子ブック)

Access Medicine: 医学分野の電子教科書約 95 タイトルが閲覧可能(ハリソン内科学など)
今日の診療 Web 版: 今日の診療ほか、医学書院の書籍 14 冊の閲覧可能
MERCK MANUALS: Merck 社発行の総合医学書
メディカルオンラインイーブックスライブラリー: 国内の医学・医療関連の電子書籍を約 7,000 冊閲覧可能で、設定した My ページの ID/パスワードでリモートアクセス可能
Maruzen eBook Library: 学術雑誌に特化した機関向け電子配信サービス(アカウントを作成することでリモートアクセス可能)

◆学習ツール

Visible Body: Human Anatomy Atlas 2021 解剖学的構造を 3D で可視化した学習ツール

◆文献検索(海外文献)

Cochrane Library: コクラン Cochrane が作成する良質なシステマティック・レビュー
PubMed: MEDLINE の一般公開版、世界の主要医学系雑誌掲載の文献の検索
PubMed for Handhelds: PubMed を PICO で検索
Scopus: 科学・技術・医学・社会科学・人文科学の抄録・引用文献検索
CINAHL: 看護学および健康関連分野の英文データベース

◆文献検索(国内文献)

医学中央雑誌 Web 版: 国内の医・歯・薬学及び関連領域の文献情報検索(1977 年~)
(ID とパスワードでリモートアクセス可能)

JDream3-JMED /MEDLINE/JST: 科学技術や医学・薬学等について国内外の文献を検索
最新看護索引 Web: 看護文献データベース、看護学会論文集第 42 回~(本文閲覧可能)

メディカルオンライン: 医学文献検索(本文閲覧可能)、国内医学雑誌 1,561 タイトル
(設定した My ページの ID/パスワードで学外からのリモートアクセス可能)

医書.jp: 医学書院、メディカル・サイエンス・インターナショナル、三輪書店刊行の雑誌が閲覧可能(ID とパスワードでリモートアクセス可能)

CiNii Articles: 学協会・大学などで発行の学術雑誌、研究紀要・国立国会図書館の雑誌記事索引を検索

NDL-OPAC(NDL ONLINE): 国立国会図書館オンラインで国内発行の出版物を検索

Google scholar: 論文・書籍・要約・記事など学術資料の検索

厚生労働科学研究成果データベース: 厚生労働科学研究費補助金等で実施した研究報告書の概要版、本文の閲覧・検索

◆雑誌の影響力調査

Journal Citation Reports: 学術雑誌の ImpactFactor を調査

◆研究業績の評価・分析

Essential Science Indicators: 研究分野に応じた影響力のある個人、組織・機関、論文、刊行物、最新研究領域を調査できる

◆判例検索

D1-LAW.com: 現行法規、判例体系、法律判例文献情報が利用可能

◆文献管理ツール

RefWorks: Web ベースの文献管理ツール、学外からでも自分の ID でログインし、調査・研究に使用した資料の記録を RefWorks サーバに置くことができる

EndNote Basic: Web ベースの文献管理ツール、学外からでも自分の ID でログインし、調査・研究に使用した資料の記録を EndNote サーバに置くことができる



<https://opac.saitama-med.ac.jp/drupal/>

埼玉医科大学附属図書館 QRコード

Saitama Medical University

指導医層が厚く出身大学の垣根のない 大学病院での研修をおすすめします。



修了証授与式・優秀者表彰式

採用研修医
歓迎会

病院管理者からのメッセージ

埼玉医科大学には3つの急性期病院がありますが、『すべての病める人に、満足度の高い医療を行う』という共通の基本理念を持って病院を運営しています。

埼玉医科大学病院は、教育の中核かつ特定機能病院として活動しながらも、地域医療の最後の砦としての役割も果たしています。川越キャンパスにある総合医療センターは、ドクターヘリが常駐する高度救命救急センターと東洋一の総合周産期母子医療センターを有し、県内全域の医療の中心的役割を果たしています。

大学病院から2km余り離れた日高キャンパスにある国際医療センターは、がん、脳卒中、心臓病、救命救急に特化した病院で、先進的医療を実践しつつ、日本の大学病院として初めて国際病院認証（JCI）を取得しました。3病院はその特徴に応じた診療活動を展開しているため、各病院の専門診療科は得意とする分野が少しずつ異なります。このような特徴を最大限に活用していただくために、初期臨床研修においてはどの病院に所属していても、3病院の診療科を自由に行き来して研修できる「埼玉医科大学3病院自由選択プログラム」を準備しております。従って、診療科ごとに自分の学びたい研修に合わせて、病院の枠を超えて、また指導者を選んで研修を進めることができます。このため、このプログラムは毎年たくさんの研修医に支持され、各病院とも最も多くの研修医が参加しています。

埼玉医科大学病院の特徴は、大学病院本院として特定機能病院に課せられた、「高度の医療の提供」「高度の医療技術の開発及び評価」及び「高度の医療に関する研修」の3つの機能を発揮しつつ、埼玉県西部地域の中核病院として多くの救急患者を受け入れ、日常良く遭遇する疾患（いわゆるcommon disease）の症例数に恵まれていることです。

2006年に新設された総合診療内科は、年を経るごとに陣容を整え、現在では指導スタッフ数や病床数は内科系最大の診療科となっています。一方、当院の救急医療は、「救急センター・中毒センター」として活動してきましたが、2021年4月から「救急センター」及び「臨床中毒センター」に分かれ、さらに活動を強化しています。救急科を中心とした全ての診療科の協力の元に、三次救急以外のあらゆる救急患者に対応できる体制となっていますが、特に薬物中毒や精神科救急を積極的に受け入れている点に特徴があります。

2016年春には外来診療を主体とする東館がオープンし、総合診療内科の外来・病棟、救急センター・臨床中毒センター、こどもセンター、内科外来、アレルギーセンター、アイセンター、女性ヘルスケアセンター、リプロダクションセンター、難病センター、てんかんセンター、高齢者総合診療センター、さらに内視鏡センター、腎センター・血液浄化ユニットなどが設けられ、診療科横断的な患者中心の医療を実践しつつあります。また、以前から埼玉県の感染症指定医療機関、肝疾患連携拠点病院でしたが、2018年度には埼玉県のアレルギー疾患医療拠点病院、てんかん診療拠点機関、難病診療連携拠点病院の指定を受けました。

研修プログラムは、「3病院自由選択プログラム」の他に、初期研修医の期間も社会人大学院生として学び、4年後には学位が取得できる「研究マインド育成自由選択プログラム」、総合医の育成を目指す「総合医育成広域連携病院自由選択プログラム」、「周産期・成育医療専門医自由選択プログラム」、「外科系プログラム」を準備しております。いずれのプログラムに参加していただいても、当院では、建学の理念である「師弟同行」を実践しながら、「すぐれた実地臨床医家」を目指して研修に取り組んでいただくことができます。

埼玉医科大学では、2012年から整備されたシニアレジデント制度により、卒後3年目から4年間、3病院で1学年100名までの専門医取得を目指すシニアレジデントを有給の助教として採用してきました。2018年度から新専門医制度が導入され専攻医と名称は変わりましたが、この方針は維持されています。従って、埼玉医科大学3病院で初期研修を開始していただければ、そのまま専門医取得まで安心して勤務することができます。今後当院では、将来的な専門診療を睨んだ研修は勿論ですが、より全人的な医療、診療能力、何でも診るという意気込みや実力を身につける、これらを研修医の先生や若い先生に強く希望し、求めています。そのために、現在の診療体制や研修プログラムをさらに発展させ、社会のニーズに合った当院独自の特徴ある体制構築をしていく所存です。

将来研修医の方がどのような道に進んでも、当院で研修をしたことが必ずプラスになり、誇りと自信を持って医師の道を歩めるよう、病院全体で支援していきます。当院での初期研修が皆さんにとって実り多いものになることを確信しています。宜しく申し上げます。



SAITAMA MEDICAL UNIVERSITY HOSPITAL RESIDENT PROGRAM INFORMATION



<https://www.saitama-med.ac.jp/hospital/resident/shirishokenshu/tokushoku/#movie>

動画で見る埼玉医科大学病院臨床研修プログラムの特徴



初期研修の2年間は優れた臨床医として医師が一生を有意義に送るための土台となる極めて重要な時期であり、一人ひとりの研修医が本プログラムによってより多くの研修成果を達成することを期待いたします

Saitama Medical University Hospital

Your Happiness is Our Happiness